2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上 場 会 社 名	株式会社ヨロズ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7294	URL	http://www.yorozu-corp.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	平中　勉
問合せ先責任者	（役職名） 常務執行役員	（氏名）	矢後　敏之　（TEL）045-543-6802
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	2026年12月11日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	89,941	7.4	1,310	29.8	1,081	28.4	131	△13.4
2026年３月期中間期	83,763	△7.9	1,009	736.1	842	－	152	－

（注）包括利益　2027年３月期中間期　2,396百万円（　　－%）　2026年３月期中間期　△97百万円（　　－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円　銭	円　銭
2027年３月期中間期	6.36	6.24
2026年３月期中間期	6.27	6.17

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	137,201	66,249	40.6
2026年３月期	138,258	64,053	39.2

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　55,762百万円　2026年３月期　54,154百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2026年３月期	－	15.00	－	18.00	33.00
2027年３月期	－	16.00			
2027年３月期（予想）			－	17.00	33.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	166,000	△5.9	3,300	△17.1	2,100	△44.4	1,100	△47.0	53.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　―社（社名）　　、除外　　５社（社名）　㈱ヨロズ栃木
㈱ヨロズ大分
㈱ヨロズサステナブル
マニュファクチャリングセンター
㈱庄内ヨロズ
㈱ヨロズエンジニアリング

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	25,055,636株	2026年３月期	25,055,636株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	4,236,284株	2026年３月期	4,460,459株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	20,699,578株	2026年３月期中間期	24,243,858株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催時に当社ホームページで掲載する予定です。

・2026年11月24日（火）・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（セグメント情報等） …… 10

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、インフレの高止まりや為替相場の変動に加え、米国・イラン間の緊張を含む地政学リスクの高まり、中東情勢の動向に伴う原油・エネルギー価格の変動などにより、先行き不透明な状況が続きました。さらに今後においては、米国の外交・通商政策や中間選挙の結果を含む政治動向、中国経済の減速などが、世界経済やサプライチェーンに及ぼす影響についても、引き続き注視が必要な状況となっております。

当社グループが関連する自動車産業においては、中国における日米欧系自動車メーカーの生産動向や、米国の関税政策の影響などを背景に、地域やメーカーによって生産台数にばらつきが見られ、厳しい事業環境が続いております。

このような状況下において当社グループの売上高は、グループ全体の生産台数が減少となったものの、為替換算影響などにより、前年同期比7.4％増の89,941百万円となりました。営業利益は、前期の合理化活動の成果を弾みにした「Success 26V」の推進などにより、前年同期比29.8％増の1,310百万円となりました。経常利益は営業利益の改善などにより前年同期比28.4％増の1,081百万円となりました。一方、親会社株主に帰属する中間純利益は、主に連結子会社「武漢萬宝井汽車部件有限公司(W-YBM)」における人員最適化などの実施に伴い、経済補償金708百万円を特別損失として計上したことなどにより、前年同期比13.4％減の131百万円となりました。

なお、連結決算における海外子会社損益の円換算には、各子会社決算期の平均レートを使用しており、当中間連結会計期間の米ドルレート（１～６月）は、158.29円/ドル（前年同会計期間は148.48円/ドル）であります。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

①日本

売上高は、生産台数の増加などにより、前年同期比11.7％増の30,558百万円となりました。営業損益は、売上高増の影響に加え合理化改善などもあるものの、今後のサステナブルマニュファクチャリングセンター（YSMC）における増産準備費用、７月に発生した熊本地震、台風の影響による生産ロスの発生などにより、前年同期比819百万円減の564百万円の損失となりました。

②米州

売上高は、米国での生産台数増加及び為替換算影響などにより前年同期比8.8％増の47,957百万円となりました。営業利益は、合理化の効果などにより前年同期比約４倍の1,976百万円となりました。

③アジア

売上高は、中国での生産台数の大幅な減少に加え、タイでも生産台数が減少し、前年同期比10.2％減の14,111百万円となりました。営業損益は、合理化改善に努めたものの、生産台数の減少影響などにより、前年同期比447百万円減の265百万円の損失となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産の部）

流動資産は、前連結会計年度末と比べ1,912百万円減少の79,736百万円となりました。

これは「製品」が1,143百万円増加したものの、「仕掛品」が1,856百万円、「受取手形及び売掛金」が1,676百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ856百万円増加の57,464百万円となりました。

これは「機械装置及び運搬具（純額）」が140百万円、「建物及び構築物（純額）」が135百万円それぞれ減少したものの、「投資その他の資産」が812百万円、「建設仮勘定」が336百万円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ1,056百万円減少の137,201百万円となりました。

（負債の部）

流動負債は、前連結会計年度末と比べ3,065百万円減少の38,963百万円となりました。

これは「その他」が2,202百万円増加したものの、「短期借入金」が3,238百万円、「支払手形及び買掛金」が1,592百万円、「未払金」が407百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ186百万円減少の31,988百万円となりました。

これは「その他」が237百万円、「退職給付に係る負債」が121百万円それぞれ増加したものの、「長期借入金」が431百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ3,252百万円減少の70,952百万円となりました。

（純資産の部）

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ2,196百万円増加の66,249百万円となりました。

これは「為替換算調整勘定」が1,137百万円、「その他有価証券評価差額金」が602百万円、「非支配株主持分」が591百万円それぞれ増加したことなどによります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年５月15日の「2026年３月期 決算短信（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想値に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,767	29,704
受取手形及び売掛金	27,770	26,093
電子記録債権	2,609	2,339
製品	3,543	4,686
原材料及び貯蔵品	1,669	1,473
部分品	4,284	4,471
仕掛品	6,903	5,046
その他	6,516	7,371
貸倒引当金	△1,414	△1,449
流動資産合計	81,649	79,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,113	15,977
機械装置及び運搬具（純額）	19,426	19,286
建設仮勘定	3,860	4,197
その他（純額）	6,497	6,501
有形固定資産合計	45,898	45,962
無形固定資産	209	188
投資その他の資産	10,500	11,313
固定資産合計	56,608	57,464
資産合計	138,258	137,201

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,374	11,781
電子記録債務	1,078	776
契約負債	234	622
リース債務	285	288
短期借入金	11,158	7,919
1年内返済予定の長期借入金	2,895	2,714
未払金	2,104	1,697
未払法人税等	402	89
賞与引当金	1,360	1,734
役員賞与引当金	80	80
その他	9,055	11,257
流動負債合計	42,029	38,963
固定負債		
長期借入金	25,052	24,620
退職給付に係る負債	1,094	1,215
リース債務	3,956	3,842
その他	2,072	2,309
固定負債合計	32,175	31,988
負債合計	74,205	70,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,200	6,200
資本剰余金	9,094	9,050
利益剰余金	31,052	30,813
自己株式	△4,698	△4,462
株主資本合計	41,648	41,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,257	4,860
為替換算調整勘定	8,699	9,836
退職給付に係る調整累計額	△450	△537
その他の包括利益累計額合計	12,506	14,159
新株予約権	492	488
非支配株主持分	9,406	9,997
純資産合計	64,053	66,249
負債純資産合計	138,258	137,201

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	83,763	89,941
売上原価	75,256	79,004
売上総利益	8,507	10,936
販売費及び一般管理費	7,497	9,626
営業利益	1,009	1,310
営業外収益		
受取利息	139	148
受取配当金	129	135
為替差益	102	215
補助金収入	17	102
デリバティブ評価益	72	－
その他	111	97
営業外収益合計	573	699
営業外費用		
支払利息	504	537
デリバティブ評価損	－	234
工場閉鎖関連費用	－	97
その他	236	59
営業外費用合計	740	928
経常利益	842	1,081
特別利益		
固定資産売却益	4	40
受取保険金	44	9
その他	0	3
特別利益合計	49	53
特別損失		
減損損失	－	95
経済補償金	99	708
その他	47	0
特別損失合計	146	804
税金等調整前中間純利益	745	330
法人税等	484	17
中間純利益	260	313
非支配株主に帰属する中間純利益	108	181
親会社株主に帰属する中間純利益	152	131

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	260	313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	694	603
為替換算調整勘定	△1,154	1,580
退職給付に係る調整額	101	△100
その他の包括利益合計	△358	2,083
中間包括利益	△97	2,396
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	237	1,785
非支配株主に係る中間包括利益	△334	610

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	745	330
減価償却費	2,965	3,291
減損損失	―	95
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△81	△3
賞与引当金の増減額（△は減少）	370	355
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△66	46
受取利息及び受取配当金	△269	△284
支払利息	504	537
為替差損益（△は益）	110	△24
売上債権の増減額（△は増加）	△1,122	2,543
有償支給未収入金の増減額（△は増加）	83	14
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,271	1,101
未収入金の増減額（△は増加）	983	△157
その他の資産の増減額（△は増加）	△239	△330
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,232	△2,123
その他の負債の増減額（△は減少）	1,002	1,609
小計	2,482	7,001
利息及び配当金の受取額	275	282
利息の支払額	△488	△471
法人税等の支払額	△773	△371
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,497	6,440
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,411	△2,516
無形固定資産の取得による支出	△72	△12
定期預金の預入による支出	―	△318
定期預金の払戻による収入	2,531	3
その他の支出	△78	△62
その他の収入	273	157
投資活動によるキャッシュ・フロー	242	△2,748
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	△4,281	△3,322
長期借入れによる収入	1,484	1,500
長期借入金の返済による支出	△2,545	△2,200
配当金の支払額	△388	△370
非支配株主への配当金の支払額	△8	△18
その他	△184	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,923	△4,432
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,176	373
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△5,360	△367
現金及び現金同等物の期首残高	25,289	29,763
現金及び現金同等物の中間期末残高	19,929	29,396

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	24,103	43,958	15,701	83,763
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,262	129	6	3,398
計	27,366	44,088	15,707	87,162
セグメント利益	255	520	182	958

２．報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	958
セグメント間取引調整額	51
中間連結損益計算書の営業利益	1,009

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	27,995	47,845	14,100	89,941
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,563	112	10	2,686
計	30,558	47,957	14,111	92,627
セグメント利益又は損失(△)	△564	1,976	△265	1,146

２．報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,146
セグメント間取引調整額	163
中間連結損益計算書の営業利益	1,310